

組 番 名前

- 一
- 大川さんの学級では、総合的な学習の時間に、「まちの名人」を調べて、しょうかいすることになりました。大川さんのグループは、野菜作り名人として農家の草野さんにインタビューをし、取ざいメモにまとめました。

【インタビュー】

大川さん	わたしたちは、総合的な学習の時間で「まちの名人」について調べています。草野さんは、何種類の野菜を作っているのですか。
草野さん	一年間を通して三十種類以上の野菜を作っています。 しゅるい
大川さん	たくさん野菜を作っているんですね。（１）。
草野さん	一番多く育てているのは、ハウレンソウですね。
大川さん	それでは、草野さんは、おいしいハウレンソウを作るためにどんなくふうをしていますか。
草野さん	土作りをくふうしています。ハウレンソウ作りに向いた土でないと、おいしく育ちません。えいようたつぷりのたいひを作り、畑の土にまぜて作っています。
大川さん	土作りの他にしているくふうはありますか。
草野さん	病気になるにくふうもしています。畑の土をもり上げて、水はけや風通しをよくするようにしています。そこにハウレンソウを植えています。
大川さん	（２）。
草野さん	ハウレンソウは葉に水がついたままだと病気にかかってしまうからです。畑の土をもり上げると、水はけや風通しがよくなり、葉がぬれてもすぐにかわくので、病気になるません。
大川さん	おいしいハウレンソウを作るためにいろいろなくふうをしているんですね。
草野さん	今年は日どりや大雨で、野菜がかわたりくさったりしてくろうしました。農業はくろうも多いですが、とてもやりがいのある仕事です。これからおいしい野菜を作っていきたいと思っています。



草野さん

※たいひ…動物のふんや生ごみ、わらなど自然のものをくさらせひりょうにしたもの

問一 大川さんは、野菜作り名人の草野さんへのインタビューで、（１）（２）の質問をしました。インタビューの（１）（２）にはどんな言葉が入りますか。左の□の中から一つえらんで○の記号を書きましょう。

（１）	
（２）	

Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓓ

どうして、畑の土をもり上げて水はけや風通しをよくすると病気になるのですか

ハウレンソウ作りで大変なことは何ですか

一番多く作っている野菜は何ですか

土作りでくふうしていることは何ですか

〈取ざいメモ〉

ア 病気にならないくふう

- ・ 畑の土をもり上げ、水はけや風通しをよくする。
- ・ 葉に水がついたままだと病気にかかる。

イ 育てている野菜

- ・ トマトやナス、ニンジンなど、三十種類以上を一年中育てている。
- ・ ホウレンソウが一番多い。

ウ 野菜作りのくろう

- ・ 日どりや大雨↓かれる。くさる。
- ・ くろうは多いが、やりがいがある。

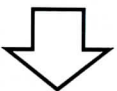
エ 土作りのくふう

- ・ ホウレンソウに向けた土作り
- ・ たいひを畑の土にまぜる。

問い二 大川さんは、右の〈取ざいメモ〉をもとに、《組み立て表》を作り、「おいしいホウレンソウを作るためのくふう」について、しょうかい文を書きました。これらを読んで、あとの(一)ゝ(二)の問題に答えましょう。

《組み立て表》

始まり	中		終わり
① しょうかいすること 「おいしいホウレンソウを作るためのくふう」	② くふう一	③ くふう二	④ まとめ 土作りのくふうや病気にならないくふうをして、おいしいホウレンソウを育てている。



《大川さんが書いたしょうかい文》

- ① わたしは、野菜作り名人の草野さんが、おいしいホウレンソウを作るためにくふうしていることについてしょうかいます。
- ② 一つ目は、土作りです。ホウレンソウ作りに向いた土でないとおいしく育ちません。えいようのたつぷりつまったたいひを作り、畑の土にまぜて育てています。
- ③ 二つ目は、病気にならないくふうです。草野さんのホウレンソウ畑は土をもり上げ、水はけや風通しをよくしています。なぜかというと、
- ④ このように、草野さんは、土作りをくふうしたり、病気にならないくふうをしたりしながら、おいしいホウレンソウを育てています。

(一) 右の《組み立て表》の「中」に使われたメモの記号を、《取ざいメモ》アゝエの中からえらんで、《組み立て表》の□の中に書きましょう。

(二) 《大川さんが書いたしょうかい文》の③のだん落の□には、もっとくわしく書いた方がよいことが入ります。〈取ざいメモ〉の中からつけ足す内容を見つけて、文を書きましょう。

【つけ足す文】

なぜかというと、

大川さんの学級では、他にケーキ店をけいえい経営している平田さんにインタビューしました。そこで、「新商品を作るときにくふう」や「お客さんへのサービス」について聞き、取ざいメモにまとめました。そして、次の取ざいメモをもとにしようかい文を書くことになりました。

《取ざいメモ》

カ きせつのくだものを使うこと

- ・ 春はイチゴ、夏はメロンなど、きせつごとに、おいしいくだものがある。
- ・ 新商品にくだものを使い、きせつを感じてもらおう。

ク スタンプカードの発行

- ・ 買い物五百円でスタンプを一こおす。
- ・ スタンプ十二で、お客さんの好きなケーキを一つサービスする。

キ のみものコーナーのせっち

- ・ コーヒーや紅茶などをむりようでのむことができる。
- ・ 買ったケーキも店の中で食べられる。

ケ 見た目や大きさのくふう

- ・ お客さんがおいしそうだと思うようないろどりを考える。
- ・ 子どもでも食べやすい大きさにする。

問い一 あなたは、次のどちらの内ようで書きますか。

どちらかをえらんで（ ）に○を書きましょう。

A () 新商品を作るときにくふう

B () お客さんへのサービス

問い二 あなたが問い一でえらんだAまたはBの内ように

合う《取ざいメモ》をかくケの中から二つえらんで、左の□に取ざいメモの記号を書き入れましょう。

と

※問い五では、この二つのメモを使います。

問い三 問い二で、他の取ざいメモを使わなかった理由を書きましょう。

からです。

問い四

《組み立て表》の「終わり」には、しようかい文のまとめが入ります。あなたがえらんだ内ように合うまとめの文章を、一の《大川さんが書いたしようかい文》の④をさん考にして書きましょう。

このようにつく

《組み立て表》

終わり	中		始め	
④ まとめ	③ くふう二	② くふう一	① 新商品を作るときのくふう	Aをえらんだ人
④ まとめ	③ サービス二	② サービス一	① お客さんへのサービス	Bをえらんだ人

組
番
名前

問い五 あなたがえらんだ《組み立て表》をもとにして、しょうかい文を書きましよう。

①の《大川さんが書いたようなかい文》をさん考にして書きましょう。ただし、①から④のどん落番号は、書きません。

- 二三三字（太線）をこえるまで書きましょう。ただし、三三〇字以内の字数で書きましょう。名前や題名は書かず、一行目から文を書き始めましょう。ひつようなところで行をかえて、「始め」・「中」（二つ）・「終わり」の四つのだん落で書きましょう。文の終わりは、「ゝです。」「ゝます。」の形で書きましょう。

【使った取ざいメモ】

と

[illegible]

ここは先生用ですので、
記入しないでください。

⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---